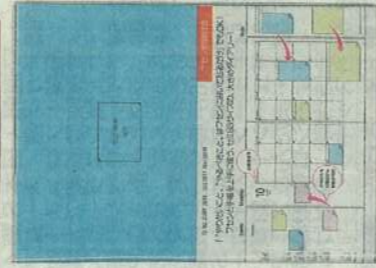




高橋書店の「アウアン」



ココヨの「シアン手帳B」



ナカバヤシの「TODOダイアリー」

翌年の手帳を新調する時期になってきた。月の予定が見やすいものや目標を書き込めるページ、専用の付箋を貼って予定を管理しやすくするなどメーカー各社

予定管理 見やすさ追求

付箋や目標書くページも

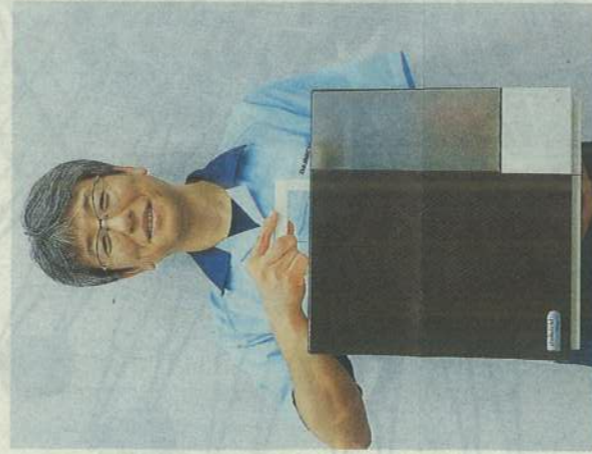
帳

宮城県・仙台市で発祥 小島 昌彦

ビットのヒント

チ工業

堀江淳さん



「購入者に静音性を評価され、口コミで広がった」と話すダイニチ工業の堀江淳さん

作動音を抑えて 夜の公園より静か

003年に初代の加湿器を発売したが「全く売れず、撤退もやむなしと言われるほどだった」と振り返る。顧客アンケートなどによって、静音性が不十分だったことが分かった。「寝室や個室で使うにはうるさいと感じられていた。モーターの取り付け方や送風経路を見直し、作動音を抑えた。就寝時に音が気になるとの指摘に対応、最小運転音の「おやすみ加湿モード」を搭載した。水を含んだフィルターに風を当てて蒸発させる気化式



⑤シヨルターベルト「アルクト王」⑥車椅子に乗る女性が使いやすいバッグ



つえを引っ掛けるベルト／車椅子で使いやすいバッグ



シヨルターベルトを開発した(左から)松本奈緒美さん、遠藤一代吉さん、笹井幹哉さん

産布が主力のライコクア ルマケア(香川県高松市)は今年5月、歩行用のつえを引っ掛けられるシヨルターベルト「アルクト王」(9800円)を発売した。脳梗塞で左半身が不自由な都内在住の遠藤一代吉さん(63)が使っていたカヌー用ストラップが原型になっている。つえは階段の上り下りや財布を出す際に邪魔なため、身に着けたストラ

障害者の外出促す 商品開発

障害者の外出を後押しするアイデア商品が登場している。実際に利用する立場から発案、機能を高めてデザインも工夫されている。製造・販売する企業は「高齢者向けのビジネスの拡大にもつながる」と期待を寄せる。

当事者の意見反映、見た目も重視

バッグに掛けると便利だ。

一人で暮参りに

遠藤さんは開発段階でベルトを着け、一人でバスに乗り故郷の福島県喜多方市に暮参りに。

「引きこもりずに外出できるのがうれしい」と話す。

アイデア商品のコンサルタツトや開発を手掛ける「発明ゴブツクス」(東京)の松本奈緒美代表が試作。ライコクアアルマケアの笹井幹哉社長と協力し「周囲の人や物に引っ掛からない」「電車のドアに挟まれたら、ベルトが体から外れる」など安全性を重視した。

ベビーカーでも

繊維加工の「鈴木工業所」(浜松市)は今年8月、新ブランド「ADOM(アドム)」の第1号として、車椅子に乗る女性が使いやすいバッグ(送料込み1万4018円)を発売した。インターネットで購入できる。



バッグを使うみゆうさん

車椅子に取り付ける際は巻き付けた付属ベルトにバッグのフックを引っ掛ける。ベビーカーでも利用できる。

障害のある女性のおしゃれや恋愛を特集する雑誌「O・I・C Love(コイラブ)」☆女子部」を発行するNPO法人「施無畏」と開発。10〜30代の読者モデルにヒアリングしたところ「見た目も大事」「片手でも開け閉めしやすいフアスター」「肩に掛けても痛くない幅のストラップ」などの声が上がった。

アイデアを出した一人のモデルみゆうさん(19)は、車椅子に簡単に付けられ、携帯電話や財布、化粧品が入るバッグが一般の店で見つからず不便だった。開発リーダーを務めた鈴木工

障害者の外出

身体や精神に障害があっても、できるだけ自分の力で歩行や移動をする人は少なくない。道具や機器の活用だけでなく、周囲の配慮が大きな支援になる。



松阪牛納豆 200g



こんなのあるんだ!

ためみせ納豆工房

店主／奥野敦哉さん

47クラブが自社製品がニュースになる。

新聞への露出がきっかけで、様々なマスメディアからの取材も増えました。そんな時には47クラブに注文が殺到。松阪牛納豆はそんな中で生まれたヒット作です。

三重

柿の専門 奈良吉野いしい 専務取締役／石井和弘さん

47クラブのコンクールで1位を獲得しました。

地方の価値ある逸品を集めた47クラブで2016年度「こんなのあるんだ大賞」で最優秀賞を受賞した商品です。柿のやさしい甘みとパターの香りが最高です。 柿150g



47クラブ 全国の地方産品を応援する。 こんなのあるんだ! 大賞2016 東海・近畿ブロック大会 全国大会 出場権

私たちと一緒に47クラブで